



すずしろ 22 2023 7 月報

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22 世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況

6 月の援農集計

	援農時間 (h)	参加人数 (人)	参加延べ人数 (人)	農家数 (軒)	累計援農時間 (h)	累計参加延べ人数 (人)
2023 年 6 月	2,047	65	571	22	10,776	3,009
2022 年 6 月	2,089	56	566	20	9,978	2,715
増減	-42	+9	+5	+2	+798	+294

6 月が終わり、今年も半年が過ぎました。6 月の援農結果と上半期の援農の様子などをお知らせします。6 月の援農は、2,047 時間(昨年同月比 42 時間減)、年間累計では 10,776 時間(昨年累計より 798 時間の増)となっております。6 月は 65 名の方が援農に参加しておりますが、2022 年以降の入会の方が 20 名ほど参加しております。ベテランの方ばかりでなく、援農経験の少ない方、比較的若い方の援農参加も増えてきており、良い状況が続いております。作業内容は、大根・かぶ・にんにく・じゃがいも・玉ねぎ・枝豆の収穫・袋詰めその他、里芋・八頭等への施肥(鶏糞まき)などでした。

この 7 月は、各地で大雨が降り続き大きな被害が出ている地域がある一方、八王子は雨が少なく、梅雨明け以降も猛暑日が続いております。熱中症警戒アラート、救急者逼迫アラート等注意喚起が発令されますが、引き続き『熱中症に注意』して行きましょう。「水分補給」、「こまめな休憩・・・」等の熱中症予防＝安全援農は、すずしろ 22 の最優先の取り組みです。暑さはまだまだ続きます。十分に睡眠を取り、よく食べ、その上で余力がありましたら、是非とも援農への参加もお願いします(援農サポータ北尾)



理事会報告

7 月度理事会 (7/20(木) 17:30~20:30 台町市民センターにて。8 名)

- ① 農家の援農要請に対する充足状況(直近の応募状況)等の情報交換と、対策の検討。
- ② 刈払い機実技講習会を清水理事長講師で行い、7 名(内、女性 4 名)受講。
- ③ コスモスふぁーむ冠水対策として、市が、山側を流れる用水路を掘り下げを実施。園内の西側水路も 30cm 掘り下げの予定。
- ④ 新富所農園に獣害対策用の電気柵を設置した。市から 5 万円の補助金あり。
- ⑤ 農園利用規約に反して、現状復帰されないまま返還された場合を規約に明文化する件は、継続審議となった。



援農のお誘い

夏は、夏休みや帰省、暑すぎて外に出られない等で援農に参加できない方がいらっしゃいます。しかし、草の成長が早く、夏場だけの桑の葉収穫とブルーベリー収穫の依頼もあり、一年で一番の農繁期です。援農にご協力お願いいたします。

① 桑の葉収穫

- ・時間：6 時～11 時ですが、各自の都合の良い時間で開始・終了も可
- ・谷津農園(梅坪町・道の駅滝山そば)、7/27(木)、28(金)、7/31(水)～8/4(金)
- ・村内道子農園(加住町、富所農園そば)、28(金)、31(月)、8/1(火)、3(木)
- ・松本農園(美山町、美山小西交差点そば)、7/27(木)、28(金)、7/31(月)～8/4(金)
- ・申込・お問い合わせ：北尾 (090-9834-5683 / tkitao@ac.auone-net.jp)



② ブルーベリー収穫

- ・中村農園(上恩方町) 申込：小西 (090-5525-0205、konishi@rice.ocn.ne.jp)
- ・番場農園(下恩方町) 申込：佐藤瑞恵 (mizue06230415@yahoo.co.jp
Eメール 09049122117)

- ③ 上記以外の農家さんからも援農の依頼があります。担当窓口等より案内を発信させて頂いております。参加をよろしくお願いいたします。

安全PR

畑のくぼみに気がつかず、足を取られるという事故が2件発生しました。刈払い機使用中と、トンネル支柱を担いで畑を移動中の事故でした。前者は大事にならずにすみましたが、後者は足をくじいて、思わぬ大けがになり、傷害保険の適用になりました。畑は、イノシシの荒らした跡だったり、草で見えなかったり、耕耘して地形が変わっていたりと、変化に富んでいます。足元にご注意ください。

熱中症になったという報告も入っています。畑に出るときは、飲み物を携行していつでも飲めるようにしてください。また体の異常や体調不良を感じたら、すぐに作業を中断し、農家さんや周囲の人に伝えましょう。（傷害保険担当 飛田恵美子）

援農体験記

『大地に立って語られる言葉には素直に頷けます』 館町 佐藤弘行

皆さん、初めまして。5月からお世話になっている佐藤と申します。元々は接客業で、生まれも育ちもコンクリートとアスファルトまみれの非農家出身なのですが、ド素人数人での農作業（別の法人）経験と、後はネットやSNSの情報を頼りにベランダでハーブ等を少しばかり楽しんでおりました。でも「もっと知りたい、経験したい」となるのですが、農家さんの知り合いも皆無。そんな時に知人から『すすしろ22』と言う団体があるよ、と教えて頂き入会した次第です。



正直に言います。最初は農家さんが怖かったです。やってはいけない事、やらなければいけない事、そういったルールが判らなかつたからです。若い頃と違い、還暦すぎて人に怒られるのが怖くもあり、情け無くなりはしないかと。杞憂でした。一つ問えば、二つ三つと答えてくださる。今の時代、ネットで検索すれば大抵の知識は得られるけれど、液晶に羅列された文字よりも、大地に立って語られる言葉には素直に頷けます。その証拠が目の前に青々と生い茂っているのですから。短い時間の作業ですが、ただただ迷惑だけは掛けまいと思いますが（多分掛けます）宜しくお願いいたします。

イベントのお知らせ

「ブルーベリー摘み取り援農体験」は、8/5(土)、6(日)に10名ずつ空きがあります。下恩方町番場農園にて。詳しくは6月報をご覧ください。

申し込み：佐藤瑞恵 (mizue06230415@yahoo.co.jp) ヨーメール 09049122117)

イベント報告

じゃがいも掘りを7/8に石川農園で実施しました。4組16名参加。38kgのキタアカリを収穫・買い取り。「楽しかった。次のブルベ収穫体験も参加する」などの感想がありました。

野草あれこれ

ノカンゾウ(野萱草)、ヤブカンゾウ(藪萱草) コリ科ワスレグサ属

7~8月に野原や川岸などに咲くユリに似たオレンジ色の大きい一重の花が、ノカンゾウ。ヤブカンゾウはよく似ているが、八重咲。北海道から沖縄まで日本全国に分布。多年草。葉は春先、株元から互い違いに生じる。先葉の間から花茎が伸び二つに分岐し、10輪前後の花が下から順に咲き上がる。花は直径7cm。朝開いて夕方萎むことを2~3日繰り返す。花被片(花弁と萼)は6枚で外へ少し反り返り、中央にはクリーム色の筋模様が入る。花の中央には1本の雌しべと6本の雄しべがあるが、実はならない。ノカンゾウの葉は淡い緑色をした平たい紐状で、長さ50~70cm、幅1~1.5cm。根は太くて短いが分岐しながら横へ広がり、端に塊根を作る。利尿作用、解熱作用、むくみや不眠・うつ症状を改善する効果がある。蕾は金針菜として売られている。春は若芽が、初夏に花と蕾が食べられる。ノカンゾウの名前の由来は、カンゾウ(中国原産の多年草)に似て、野に自生することから。



ノカンゾウ



ヤブカンゾウ



若芽